

10月教育委員会定例会議事録

午後 1時35分開会・開議

令和3年10月27日（月）

午後 2時 5分閉会・散会

令和3年10月27日御坊市教育委員会定例会を御坊市教育委員会会議室に招集

議事日程

日程第1 議事録署名委員の指名

日程第2 会期及び時間の決定

日程第3 前回の議事録の承認

日程第4 教育長の報告

日程第5 その他

（1）行事予定について

（2）その他

日程第6 次回開催日の決定

委員等定数 5名

出席委員等（5） ・弓倉 正啓教育長 ・柚瀬 真規子委員

・坂田 豊委員 ・文蔵 武人委員

・芝崎 二郎委員

欠席委員 （ ）

説明のため出席した者の職・氏名

・教育次長 阪本 興平

・教育総務課長 脇村 孝一郎

・生涯学習課長 細川 哲

本委員会の書記の職・氏名

・教育総務課長補佐 片山 浩

◎ 開会及び開議

○ 教育長から開会を宣告する。

◎ 日程第1 議事録署名委員の指名

○ 教育長から議事録署名委員に、芝崎 二郎委員を指名する。

◎ 日程第2 会期及び時間の決定

○ 教育長から本委員会の会期を本日限りとし、閉会予定時刻は午後2時30分を目処としたいとの提案をした。出席委員に異議なく、会期及び時間を決定した。

◎ 日程第3 前回の議事録の承認

○ 教育長が、全委員に対して意見等を求めたところ、特段の異議、意見等なく、これを承認することとした。

◎ 日程第4 教育長の報告

1 校長会

校長会では、特に伝達事項はなく、私の就任挨拶をさせていただきました。議事内容については、新型コロナウイルス関係についての1件のみで各校より現状報告をしてもらいました。その後、今後の日程に移りましたので、特に報告事項はありません。

2 日高地方定例教育長会

日高地方定例教育長会では、本年度御坊市が会長の順番の年ということで、就任の挨拶を兼ねて会長挨拶を行いました。その後、紀南教育支援事務所より学校指導課と社会教育課の所管事項の説明がありました。梅本副所長、松尾指導主事、岡指導主事、三浦指導主事、井戸社会教育主事が出席くださいました。

学校指導課からの主な説明内容の3点を報告します。

1点目は、これまで県外派遣をしていた戦略的な学校経営力向上事業

の教頭派遣と学力向上コアティーチャー要請・活用事業を令和３年度はコロナ関係により中止するという事です。

２点目は、学力向上関係で令和３年度全国学力学習状況調査結果の特徴や結果の取扱い及び調査結果の活用について説明がありました。今年度の和歌山県における調査結果の特徴は、小学校は、国語、算数ともに、平成２９年度から継続して全国平均と同程度の結果で、中学校は、国語、数学ともに全国平均を下回ったということです。

３点目は、令和３年度中学３年生外部検定試験（英語検定）が今年も実施され、二次試験は１１月７日県立日高高等学校で行われるとのことでした。

社会教育課からの主な説明内容を１点報告します。令和３年度人権教育地方別研修会日高会場が１２月４日、日高町農村環境改善センターにて開催されますので、例年通り各校ＰＴＡからの出席を願うとのことでした。

次に議事の主な内容を３点報告します。

１点目は、日高管内教育長及び教育委員名簿についてです。教育長の変更は、私１名、教育委員の変更は、日高町と印南町は１名ずつで、この確認を行いました。

２点目は、令和３年度日高地方市町村教育委員研修会についてです。ＧＩＧＡスクール関係で講師を探すことで一致しており、実施時期としては１月下旬で進めています。しかし、新型コロナウイルスの影響が心配されるためまだ確定していません。決まり次第ご連絡しますのでご参加よろしくお願いします。

３点目は、和歌山大学に対して、市町教育長会と都市教育長会から和歌山大学教育学部の教員養成に関する要望書を出すことに異議がないか議論しました。内容は、和歌山県出身者の入学者増と教員養成カリキュラムの見直しを行い、学生が複数校種・複数教科の免許の取得が取りやすいようにしてほしいという要望を出しました。私は、安易に複数免許を取らすことは、過去の例を出していかげなものであるかという意見を言いましたが、趣旨は十分分かりますので賛成しました。結果全員一致で要望書を出すことに賛成しました。

最後にその他として、事務局より日高地方における新規採用教員の初任研の在り方について話が出ました。令和４年度は今年度と同じく半日開催で行うことを確認しました。

3 その他

和歌山県都市教育長協議会が２０日に和歌山市にある自治会館で行われましたので報告します。

新型コロナウイルスの影響で令和３年度としては第１回目の会となりました。議事では、令和４年度近畿都市教育長会や全国都市教育長会の日程が伝達された後、担当や役割を決めました。

その後、情報交換会においては、次の４点について行われました。１点目として、修学旅行の実施状況について。２点目として、成人式の実施計画について。３点目として、小学校及び中学校における新型コロナウイルス抗原検査の取扱いと学校での新型コロナウイルス感染症対策の取組について。４点目として、GIGAスクール関係のタブレット等の活用状況についてでした。県内９市とも同じような方向性を持って進んでおり、差はあるものの抱える課題は同じだと感じました。進んでいるように見える市であっても、市内の中で学校間格差が大きいようでした。

この会議のその他で、和歌山大学教育学部長の本山先生がお見えになり、先ほど日高地方定例教育長会で報告した要望書についての話がありました。和歌山大学としても和歌山県出身者の割合を増やすことを考えていって、紀南卒のような和歌山卒を増やせないか検討していくことと、また、複数校種・複数教科の免許取得についても推奨していく方向で行きたいが、免許の乱発は教員の質の低下につながるので慎重に考えたいとのことでした。和歌山大学は、和歌山県の教員養成の使命を目的に存在しているため、文部科学省からは、大阪の教員を養成しても評価されにくい。大学としても和歌山県の教員採用試験の合格者数を上げて現在の１０教科の免許取得ができる大学として存続していきたいと言っておられました。

以上が、教育長の報告です。

- 柚瀬委員より、「GIGAスクール構想のタブレットの活用状況で、格差があるというお話がありましたが、今回、学校訪問の中で短い時間です

が授業を見させていただきましたが、感覚としては、あまり活用ができていないのかなということを感じたところです。ただ、名田中学校に行ったときは、授業の中で生徒の机の上にタブレットが置かれている状況があって、その後、新聞の報道では、校内で生徒たちが遊び感覚でタブレットを使って行事を実施したような記事が掲載されていたので、使いこなすまではできるかは分かりませんが、名田中学校では随分と使っているのだと感じました。市内でも学校で格差がある中で、何とか格差を縮めるために、教師の皆さんが集まって提案するなどの場などは設けられているのですか。」との質問があり、教育長が「格差の解消に向けて、御坊市でも教員の研修をしなければならないということで、既に3回実施しています。新聞に掲載していないなどPR不足もあろうかと思いますが、具体的には、各学校に担当1名を置きまして、その先生を通じて各校が進んでいくような形です。今回は、11月11日の予定です。」と答えた。柚瀬委員から、「もう一点、小学校からプログラミング授業を始めていただいていると思うのですが、学校訪問のときにそのような授業の場を見せていただく機会がなかったので、プログラミング授業は行っているのかと気になりました。カリキュラムの中で、時間を設けて行っていると思うのですが、どのような状況かを教えていただきたいと思います。」との質問に対し、教育長が「文科省を通じて和歌山県教育委員会で和歌山版のように出していただいているのですが、何年生では何時間、プログラミングの授業を教えてくださいというベースとなるものがあって、それは全学校で授業をしていかなければならないこととしています。」と答えた。柚瀬委員から、「研修の場で、和歌山県は前倒しで行っていると聞いたことがあるのですが、何年生から始めていますか。」との質問に対し、教育総務課長が「4月15日の教育委員会で諮りました教育基本方針の中で、きのくにICT教育についての資料を付けていたと思います。小学校5年生で18時間、小学校6年も18時間の授業を行っています。内容は、ビジュアル言語でプログラミングに慣れ親しむこと、プログラミングで、ロボットに意図した動きをさせるような力をつけることを目的に行っています。」と答えた。

- 柚瀬委員から、「和大の教員免許を複数取らしてほしいという要望を出したという件ですが、教員になろうとする方の教科に偏りとかが出てきて

しまっているのですか。それで複数という要望なのですか。」との質問に対し、教育長が「雇う側、使う方の都合が大きく反映していると思うのです。適正規模学校というのは、市内では御坊小学校だけしかありません。あとは小規模の学校になります。この前に行っていたいた河南中学校でも、全ての教科の先生が揃っているわけではありません。免許外で教えることになります。例えば、英語の先生は、1つの学校に何人もいるのに、数学の免許を持っている人が少ないとなると、免許外で教えることも出てくるのです。数学のような主要教科であれば、そのようなことは少ないですが。免許外で教えることを避けるために、1人の先生が英語の免許を持っているけれど、美術の免許も持っていることや、数学の先生が、技術の免許も持っているということは、教育委員会単位では、大変ありがたいのです。」と答えた。また、文蔵委員から、「たしか何年か前に河南中学校に行ったときに、全部免許は揃っているという話を校長先生からお聞きました。」との発言があった。坂田委員から、「和大の卒業生で、県内と県外で教師に採用される割合はどのようなのですか。」との質問に対し、教育長が「具体定な数は分かりませんが、和大の4年生の合格率が70%台と聞きまして、個人的には案外低いかなと思いました。」と答えた。坂田委員から、「和大も県外の学生が多いようですね。」との質問に対し、教育長が「そのようですね。今年の採用試験でも、ストレート組がかなり多くなってきており、また、1年講師で合格というのがほとんどであると人事の方から聞きました。」と答えた。坂田委員から、「小学校の場合も競争率が2倍をきっているのですね。」との質問に対し、教育長が「小学校は低いですね。」と答えた。

◎ 日程第5 その他

(1) 行事予定について

○ 特になし。

(2) その他

○ 特になし。

◎ 日程第6 次回開催日の決定

- 教育長が次回開催日について出席委員に諮り、11月22日（月）午後1時30分からとした。

◎ 閉会及び散会

- 教育長から令和3年10月27日（水）の御坊市教育委員会定例会の閉会を宣告する。

閉会時刻 午後 2時 5分 閉会・散会

上記会議の顛末を記載し、相違のないことを証するため、ここに署名する。

教 育 長

署名委員